

第1回 吹田市総合計画策定委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成28年6月15日(水) 午前9時から午前10時30分まで
- 2 場 所 吹田市役所中層棟4階 全員協議会室
- 3 出席者
 - 【委員長】 春藤副市長
 - 【副委員長】 池田副市長
 - 【委員】 米丸特命統括監、赤野水道事業管理者、梶谷教育長、羽間危機管理監、中江理事(危機管理担当)、岡本総務部長、平田理事(人材育成・女性活躍担当)、稲田行政経営部長 中川理事(公共施設最適化担当) 牧内税務部長 小西市民部長 木野内理事(市民自治推進担当)、横山人権政策長、原山理事(シティプロモーション担当)、橋本児童部長、後藤福祉部長(欠席)、平野理事(生活福祉担当)、乾健康医療部長、石田理事(地域医療・保健施策担当)、今川環境部長、上野都市計画部長、野上理事(千里再生・都市デザイン担当)、松本土木部長、宮田下水道部長、原田会計管理者 村上消防長、村上消防本部理事、岡本水道部長、羽間学校教育部長、服部教育委員会事務局理事、川下地域教育部長
 - 【事務局】 川本理事、岡本参事、霜竹主査、船越主任、中嶋主任、桑野係員
- 4 議事
 1. 吹田市第4次総合計画の策定方針について
(資料1～3、参考資料1～2)
 2. 第3次吹田市総合計画の検証等の進め方について
(資料4～6、参考資料3～6)
 3. その他

<質疑応答事項(概要)>

(案件1) 吹田市第4次総合計画の策定方針について事務局より説明

- 【委員】 作業部会の構成のうち第6作業部会について、都市形成の分野においては地域整備推進室の方が包括的な業務を担当しているが、副部会長に公園みどり室長を選定した積極的な理由はあるのか。
- 【事務局】 第3次総合計画の見直しの作業部会構成を参考にした。
- 【委員】 公園は第5作業部会(環境・安心安全)とも密接に関わってくると思うので、事務局側からも第5作業部会への参加を積極的に促してもらいたい。
- 【事務局】 作業部会の枠を超え分野横断的な議論をしていただきたいと考えているため、他の部会も含めて柔軟な対応をお願いしたい。
- 【委員】 結果的に否決されたものの、第3次総合計画見直しの検討過程で各部局で積み上げてきた議論や、昨年度策定したまち・ひと・しごと総合戦略については、どのように生かしていく考えか。
吹田はもともと市民の地域活動・コミュニティ活動が活発だが、それに関わる

市民の目線が総合計画の策定にもかかわってくるため、市民の意見をしっかりと聞き取っていただくとともに、市民自治推進室にもヒアリングしながら進めていただきたい。

【事務局】 ご質問いただいた第3次総合計画の見直しやまち・ひと・しごと創生総合戦略の議論を踏まえたうえで、見直し以降の3年間の取り組み等も検証していく必要があると考えている。また、分野別の個別計画との連動についても意識しながら進めていきたいと考えている。

【委員】 第3次総合計画で地域別の6ブロック構想という枠組みがあった。第4次総合計画における地域の圏域については、いつごろまでに方針を出すつもりか。

【事務局】 時期は未定。各分野の個別計画の圏域設定も配慮しながら、今後検討する。

【委員】 圏域に関する方針については、早期に決めておく必要があるのではないか。

【事務局】 現状での各個別計画の圏域設定を把握し、検討を進める。

【委員】 分野別計画は作るが、地域別計画は後から考えるということか。

【事務局】 まずは地域の特性や課題を整理したい。

【委員】 地域別計画は第3次総合計画の際に組み込まれた。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画も平成18年度に地域別計画を出した折には6ブロック構想があり、地域包括支援センターの設置についても6ブロックをベースに行っているが、現在はさらに細かい圏域設定をしている。子ども・子育て支援事業計画もブロックのベースはあるが、北部・南部や2つのブロックを統合しながら、いろいろなサービスを展開している。

また、ブロックについては基本計画に盛り込んでいく内容であるため、来年度までには何らかの方向を示す必要がある。総合計画での地域の区分については、分野によって扱いは変わってくると思うが、基本的な考え方も示しながら柔軟に考えたい。重要な議論となるため、綿密に検討する機会が必要である。

【委員長】 ブロックをまたいだ計画があることから6つのブロックをまたいで考えてはいけないということではない。高齢化率が高い地域や、子どもが多い地域など、違いを認めた上での整備の在り方を考えた方が良いため、その点については個別計画に任せるというのが第4次総合計画の策定の視点である。第3次総合計画を見直す際に、地域別計画が無いことに対し、「地域をみていない」という意見が議会からあったことについての対応は必要であると考えており、地域別の考え方について今後議論していただきたいというのが事務局の趣旨とご理解いただきたい。

【副委員長】 地域別重点取組については、基本計画において分野別計画を示し、分野別で計画された内容を地域別に分かりやすく落とし込むということと認識している。第3次総合計画、もしくはそれ以前から続けられている施策、個別計画、都市計画マスタープランでも6ブロック等を念頭に置いて作ってこられた歴史があ

るので、新たに地域別計画を作るということではないことについて特段違和感はない。

【委員】「地域」の考え方を総合計画で示しておかないと、これから計画の改定や策定をしようとしている他の個別計画に影響することを懸念している。総合計画で圏域設定を変更するとなると作成中の計画の地域を変更する作業の手戻りが大き過ぎるため、初めから地域を明確に示してほしい。今年度中に地域を示すのでは、来年度作ろうとしている個別計画には間に合わない。

【事務局】個別計画に影響を及ぼすのは理解している。できるだけ早い段階で考え方を整理したい。

【委員】地域の成り立ちを十分に認識していただきたい。

【委員】ブロックの線引きの目安を残すのか残さないのか、は明確に示すべき。これまでの経過を踏まえて「地域別の考え方」を総合計画で示すことが重要なのだと思う。

(案件2) 第3次吹田市総合計画の検証等の進め方について事務局より説明

【副委員長】事務局へのお願いとして、第1回審議会（資料6：作業スケジュール）については、年度全体のスケジュールを考えれば必須なので、そこに向けて各所管に対する必要な支援・フォロー等の進行管理をお願いしたい。

また、第3次総合計画の検証（資料5）は非常に重要なプロセスである。第4次総合計画が第3次総合計画の単なる時点修正ではなく実効性のある総合計画として機能するように、機械的にではなく、十分各部署で議論して検証に取り組んでいただきたい。資料2にあるように今後実施予定の中高生や大学生のワークショップや市民ワークショップ、アンケートなどの内容や、各部署からの第3次総合計画の検証作業を踏まえて、大所高所からの検討も必要である。

第3次総合計画の検証作業と基本構想のたたき台の検討の進め方がどうリンクしているのか。

【事務局】各部署で課題の洗い出し、検証を行った上で、作業部会において新たに基本構想に盛り込むべき点等の整理を行う。また、基礎資料も含めて分析を行う中で、市民意見についても適宜参考にしながら進めていきたい。

【委員長】第1回作業部会にて部会員である室長、課長に本日の会議の内容等を共有する予定である。第3次総合計画の検証作業等については、作業部会を中心に進めていただくことになるが、各部署内に検討会議を設置してそこで議論を進めていただきたい。